

上条集落

塩山下小田原の上条集落は、甲府盆地を眼下に望む山麓に位置する山村集落です。

山梨県内で2番目の「重要伝統的建造物群保存地区」として指定されています。

江戸時代中期から昭和にかけて建てられた地域独特の形式をもつ民家や蚕室がまとまって保存され、それらが周囲の畑地や自然環境と一体となって、江戸時代以来の伝統的な集落の形態を良くとどめています。

大菩薩トレッキングコース (所要時間 約8時間)

大菩薩峠登山口	→	丸川峠分岐	→	上日川峠	→	唐松尾根分岐	→	雷岩	→	大菩薩嶺
25分	→	105分	→	25分	→	60分	→	40分	→	10分
.....	
20分	←	80分	←	20分	←	50分	←	55分	←	10分
.....	
←		←		←		40分	←	45分	←	←

裂石の登山口から峠にかけて民宿や山小屋が多く点在します。

中里介山の小説で知られる大菩薩峠からは富士山を眺めることができます。

甲州市民バス



トレッキング

(大菩薩トレッキングコース)



大菩薩の湯

裾野に沸出した高アルカリ性泉と展望の素晴らしい露天風呂が自慢です。昔の民家をイメージした和風木造平家建てで落ち着いた雰囲気です。

雲峰寺

臨済宗妙心寺派のお寺

開山より約1260年の歴史を持つ、由緒あるお寺です。武田家代々の祈願寺として武田氏から深く崇拝されていたといわれています。

「孫子の旗」をはじめとする武田軍旗や、日本最古の「日の丸御旗」など武田家遺宝を展示しています。